



建築文化の魅力発表

民家の湯本、会津工も出場 若松
甲子園

第十一回民家の甲子園(学校対抗民家町並みフォトコンテスト全国大会)は四日、会津若松市の県立博物館で開かれた。高校生が日本の建築文化に対する感性を競い合った。実行委員会の主催、

個性豊かなプレゼンテーションを披露する「民家の甲子園」全国大会参加校の生徒、会津若松市・県立博物館

福島民報社など後援。東日本大震災からの復興支援を目的に東北で初開催した。本県の湯本、会津工を含む全国の十七校が出場した。後世に伝えたい古民家の魅力、古里の美しい風景を一枚ずつ発表した。写真スライドや自前のパネルで説明したほか、寸劇を交えたり浴衣姿で登場するなど工夫を凝らしたプレゼンテーションを繰り

広げた。

審査の結果、金賞の民家大賞には多度津(香川)が選ばれた。

福島民報社賞は中越学園中越(新潟)だった。福島民報社の国分真司写真報道部長らが審査員を務めた。

受賞者は次の通り。

- ▽民家大賞 多度津(香川)
- ▽町並み賞 岐山(岐阜)
- ▽街かど賞 八幡浜(愛媛)
- ▽優秀賞 芸術緑丘(大分)
- ▽特別賞 福島民報社賞 中越学園中越(新潟)
- ▽同 福島民友新聞社賞 吉田(愛媛)
- ▽会津若松市長賞 堀田華代(中越学園中越)
- ▽会津若松市議会議長賞 八幡浜(愛媛)
- ▽最優秀個人賞 増田良太(香川・坂田)

ていない第1原発5、6号機と第2原発1、4号機について、出席者から「県民の総意として全基廃炉の立場を明確にすべきだ」との意見が相次ぎ、県民会議でも県内原発の全基廃炉を求め、これを前提に議論を深めていく方針を確認した。

これに対し、東電福島復興本社代表の石崎芳行副社長は「プラントの安定が最優先で、その先の計画は持っていない。国が原子力政策の新たな見解を示すまで地震、津波に耐えられるように安全対策を進める」と決まり文句でかわした。

湯本、会津工が出場

若松で全国民家の甲子園

フォトコン

第11回全国「民家の甲子園」ふくしま大会は町並みフォトコンテストは4日、会津若松市の県立博物館で行われ、最高賞の民家大賞（金賞）・文部科学大臣賞には、香川県の多度津高が輝いた。特別賞・福島民友新聞社賞は愛媛県の吉田高が選ばれた。福島民友新聞

社などの後援。

「生」をテーマに全国の高校生がそれぞれの故郷の町並みやそれを取り巻く風景を写真に収めたフォトコンテスト。全国の高校から17校が出場した。本県からは湯本高と会津工高が出場した。

文部科学大臣賞は多度津(香川)



福島民友新聞社賞を受賞した吉田高のメンバー

- ▽町並み賞(銀賞)・県知事賞
- ▽岐山(岐阜)▽街かど賞(銅賞)
- ▽県教育長賞
- ▽八幡浜(愛媛)
- ▽優秀賞・会津若松市教育長賞
- ▽芸術賞
- ▽大分
- ▽福島民友新聞社賞
- ▽吉田(愛媛)
- ▽特別賞
- ▽福島民報社賞
- ▽中越学園中越(新潟)
- ▽最優秀個人賞
- ▽増田良太(坂出工・香川)
- ▽特別賞(新潟八重賞)
- ▽会津若松市長賞
- ▽堀田華代(中越学園中越)
- ▽同(故郷PR賞)
- ▽会津若松市議会議長賞
- ▽八幡浜

会津工は受賞逃す

まんが甲子園決勝

高校生の漫画日本一を決める「第22回全国高等学校